

○広島国際大学総合リハビリテーション学部履修規定

2013年3月6日

広学内049

改正 2017年3月21日

第1章 総則

(趣旨)

第1条 この規定は、広島国際大学総合リハビリテーション学部の授業科目の履修方法等について定める。

(授業科目の分類、配当年次・学期および時間数)

第2条 授業科目の分類は、卒業要件との関連で必修科目および選択科目とする。

2 開設する授業科目の分類、配当年次・学期および時間数は、別表第1のとおりとする。

3 前項の授業科目は、多様なメディアを高度に利用して、当該授業を行う教室等以外の場所で履修させることがある。なお、該当科目については、学部長が別に定める。

(学科、専攻および定員)

第2条の2 本学部の学科、専攻および定員は、つぎのとおりとする。

学科	専攻	定員
リハビリテーション学科	理学療法学専攻	60名
	作業療法学専攻	40名
	言語聴覚療法学専攻	30名
	計	130名
リハビリテーション支援学科	義肢装具学専攻	30名
	計	30名

(履修方法)

第3条 授業科目は、学科別に定めるところにより履修しなければならない。

(他大学および他学部等における授業科目の履修ならびにその取扱い)

第4条 教育上有益と認めたときは、他大学(外国の大学を含む)との協議に基づき、学長は、学生に当該他大学の授業科目を履修させることができる。

2 短期大学または高等専門学校の専攻科における学修その他文部科学大臣が別に定める学修(平成3年度文部省告示第68号に定めるもの)を教育上有益と認めるときは、本大学における授業科目の履修とみなすことができる。

3 前2項の規定により修得した単位については、学部長は教授会の議に基づき、30単位を限度として卒業の要件として認めることができる。

4 教育上有益と認めたときは、学部間の協議に基づき、学長は、学生に他学部の科目を履修させることができる。修得した単位については前項に準じる。

5 第2条第3項により修得した単位は、60単位を超えない範囲で卒業に必要な単位数に含めることができ

る。

(卒業に必要な単位数)

第5条 卒業に必要な単位数は、学科別に次表のとおりとする。

科目区分				リハビリテーション学科								リハビリテーション支援学科					
				理学療法学専攻				作業療法学専攻				言語聴覚療法学専攻					
				必修	選択			必修	選択			必修	選択				
共通教育科目	教養科目	国際	国際社会の理解	—	1	2 * 1	—	1	2 * 3	—	1	2 * 6	—	1	2 * 1		
		学際	人間と思想・文化	—	2		—	2		—	2		—	2			
			人間と現代社会	—			—			—			—				
	基礎教育科目	共通基礎	人文科学	—	2		—	2		—	2		—	2			
			社会科学	—	2		—	2		—	2		—	2			
			自然科学	—	2		—	2		—	2 * 6		—	2			
		情報処理		2			2			2			2				
		外国語		4			4			4			4				
		保健体育		1	1		1	1		1	1		1	1			
		キャリア教育		—			—			—			—				
	計			7	12		7	12		7	12		7	12			
				19単位以上			19単位以上			19単位以上			19単位以上				
スタンダード科目				4	2		4	2		4	2		4	2			

	計	6単位以上		6単位以上		6単位以上		6単位以上	
専門 教育 科目	専門基礎分野	31	7 * 2	31	7 * 1	37	11 * 7	38	6 * 2
	専門分野	59		64		55		53	
	専門総合分野	2		4		—		2	
	計	92	7	99	7	92	11	93	6
		99単位以上		106単位以上		103単位以上		99単位以上	
卒業必要単位数		103	21	110	21	103	25	104	20
		124単位以上		131単位以上		128単位以上		124単位以上	

リハビリテーション学科

① 理学療法学専攻

*1：各科目区分の卒業要件のほか、選択科目から2単位以上を修得すること。

*2：『専門基礎分野』、『専門分野』、『専門総合分野』または以下の学科・専攻の科目の中から7単位以上を修得すること。

学科・専攻名	科目名
リハビリテーション学科・作業療法学専攻	介護予防方法論、就労支援技術学、作業療法特別講義
リハビリテーション学科・言語聴覚療法学専攻	言語聴覚障害学概論Ⅰ、言語聴覚障害学概論Ⅱ、嚥下系障害学概論Ⅰ
リハビリテーション支援学科・義肢装具学専攻	リハビリテーション心理学、福祉住環境学、ユニバーサルデザイン、センサー制御学演習Ⅰ

② 作業療法学専攻

*3：各科目区分の卒業要件のほか、選択科目から2単位以上を修得すること。

*4：『専門基礎分野』、『専門分野』、『専門総合分野』または以下の学科・専攻の科目の中から7単位以上を修得すること。

学科・専攻名	科目名
リハビリテーション学科・理学療法学専攻	物理療法学、運動療法学、臨床運動学、理学療法管理運営学、理学療法特別講義
リハビリテーション学科・言語聴覚療法学専攻	言語聴覚障害学概論Ⅰ、言語聴覚障害学概論Ⅱ、嚥下系障害学概論Ⅰ
リハビリテーション支援学科・義肢装具学専攻	リハビリテーション心理学、福祉住環境学、ユニバーサルデザイン、センサー制御学演習Ⅰ

(3) 言語聴覚療法学専攻

*5：「統計学(2単位)」を修得すること。

*6：各科目区分の卒業要件のほか、選択科目から2単位以上を修得すること。

*7：『専門基礎分野』基礎医学の科目区分のうち、「解剖・生理学演習」、臨床医学及び歯学の科目区分のうち、「リハビリテーション医学」、社会福祉・教育の科目区分のうち「加齢医学」、『専門分野』総合技術の科目区分のうち、「言語聴覚特別講義Ⅰ」、「言語聴覚特別講義Ⅱ」を含む、『専門基礎分野』、『専門分野』または以下の学科・専攻の科目の中から11単位以上を修得すること。

学科・専攻名	科目名
リハビリテーション学科・理学療法学専攻	物理療法学、運動療法学、臨床運動学、理学療法管理運営学、理学療法特別講義
リハビリテーション学科・作業療法学専攻	介護予防方法論、就労支援技術学、作業療法特別講義
リハビリテーション支援学科・義肢装具学専攻	リハビリテーション心理学、福祉住環境学、ユニバーサルデザイン、センサー制御学演習Ⅰ

リハビリテーション支援学科

義肢装具学専攻

*1：各科目区分の卒業要件のほか、選択科目から2単位以上を修得すること。

*2：『専門基礎分野』、『専門分野』、『専門総合分野』または以下の学科・専攻の科目の中から6単位以上を修得すること。

学科・専攻名	科目名
リハビリテーション学科・理学療法学専攻	物理療法学、運動療法学、臨床運動学、理学療法管理運営学、理学療法特別講義
リハビリテーション学科・作業療法学専攻	介護予防方法論、就労支援技術学、作業療法特別講義
リハビリテーション学科・言語聴覚療法学専攻	言語聴覚障害学概論Ⅰ、言語聴覚障害学概論Ⅱ、嚥下系障害学概論Ⅰ

第2章 履修申請

(履修許可)

第6条 学生は、その年度に履修しようとする授業科目を履修申請により学部長に申請して許可を得なければならない。

(履修申請)

第7条 履修申請は、毎年学部長が定める期間および申請要領に従って、申請しなければならない。

- 2 正当な理由がなく、所定の期間内に履修申請しない者は、履修を許可しない。
- 3 既に合格または単位を認定した授業科目を再度履修することはできない。
- 4 同時限に重複して履修することはできない。
- 5 前項にかかわらず、新たに履修する科目と前年度不合格科目とが重複する場合、前年度不合格の必修科

目(成績評価Dの科目に限る)について3科目以内は、再受験科目として重複申請することができる。ただし、実験・実習・演習科目を除く。

6 授業科目によっては、その内容との関連において別に定める授業科目(以下「先修科目」という)の単位を前もって修得し、または同時に履修していなければ、当該科目の履修を許可しないことがある。

7 先修科目については、別表第2に定める。

(履修単位の上限)

第7条の2 1年間に履修申請できる単位数は、48単位以内とする。ただし、留学生特例科目、卒業に必要な単位数に含まれない科目および再受験科目として申請している科目を除く。

2 所定の単位数を優れた成績をもって修得した学生については、前項に定める上限を超えて履修科目の登録を認めることができる。

3 第1項にかかわらず、編入学した者および学部長が特に許可した者はこの限りでない。

(履修申請科目の変更等)

第8条 履修申請後は、授業時間割の変更の場合を除いて、原則として追加、訂正および変更を認めない。

(履修許可の取消し)

第9条 履修許可後においてこの規定および履修申請要領等に違反して申請していることが判明したときは、当該科目の履修許可を取り消す。

(履修辞退)

第9条の2 学生から履修辞退の申し出があった場合、教育的効果を考慮してこれを認めることがある。

2 履修辞退の手続方法、その他必要な事項は学部長が別に定める。

第3章 成績評価および試験

(成績評価等)

第10条 成績の評価は学則第26条に定めるところにより、試験のほか、学生の日常の学修状況等を勘案して行う。

2 成績はS・A・B・C・D・E・*の7種の評語をもって表し、その評価基準はつぎのとおりとする。また、それぞれのグレードポイント(以下「GP」という)はつぎのとおりとする。ただし、再試験で合格の場合はすべてCの評語とする。

「S」 : 100~90点(GP : 4)

「A」 : 89~80点(GP : 3)

「B」 : 79~70点(GP : 2)

「C」 : 69~60点(GP : 1)

「D」 : 59~30点(GP : 0)

「E」 : 29~0点(GP : 0)

「*」 : 評価不能

3 成績評価S、A、B、Cを合格とし、所定の単位を与える。

4 編入学等で単位認定を受けた授業科目は、「認」と表示する。また、再入学および転学部等で単位を認定した科目の評価は、学部長が別に定める。

5 単に合格または不合格をもって示す授業科目は、当該科目が合格の場合は「G」、不合格の場合は「F」と表示する。

6 第2項の成績評価による学業結果を有効利用するために、グレードポイントアベレージ(以下「GPA」という)を用いる。

7 前項に定めるGPAは、各履修科目の単位数にGPを乗じた積の合計を、総履修単位数で除して算出する。

8 つぎの授業科目は、GPAの計算対象としない。

イ 卒業要件に含むことができない授業科目

ロ 評価を「認」、「G」、「F」で表示する授業科目

ハ 履修辞退した授業科目(ただし、再履修した授業科目を辞退した場合は、既に評価された成績をもつて計算対象とする)

二 その他別に定める授業科目

(試験の方法等)

第11条 試験は履修許可を得た科目についてのみ受けることができるものとする。

2 試験は、当該科目的授業期間中に担当教員が隨時行うものとする。

3 試験の方法は、筆記、口頭試問および実技とする。

4 教育上必要な場合は、追試験および再試験を実施することがある。

5 追試験は、病気その他やむを得ない理由により受験できなかった者に対して行う試験をいう。

6 再試験は、日常の学修状況が良好であるにもかかわらず、成績が合格点に達しなかった者に対して行う試験をいう。ただし、実験・実習・演習科目は除く。

(追試験および再試験の申請ならびに許可)

第12条 前条第5項の追試験を受けようとする者は、当該科目的試験終了日の翌日から起算して3日以内に、その理由を証明する書類を添えて受験不能届兼追試験願書を学部長に提出して許可を得なければならない。

2 再試験が受けられる授業科目数は、学部長が別に定める。

3 追試験および再試験の申請要領ならびに実施要領は、学部長が別に定める。

第4章 1年間の授業期間および授業時間

(1年間の授業期間)

第13条 1年間の授業を行う期間は、定期試験等の期間を含め、35週にわたることを原則とする。

(授業出席の義務)

第14条 学生は、履修許可を受けたすべての授業に出席し、遅刻、欠席等のないよう努めなければならない。

(授業時間)

第15条 授業は、2時間を1時限として、つぎのとおりとする。

1時限	2時限	3時限	4時限	5時限
9:00~10:30	10:40~12:10	13:00~14:30	14:40~16:10	16:20~17:50

第5章 進級要件

(進級要件)

第16条 各年次に進級するためには所定の単位を修得しなければならない。

リハビリテーション学科

① 理学療法学専攻

イ 第2年次

共通教育科目	—
スタンダード科目	「アカデミックリテラシー」を修得すること
専門教育科目	1年次開講科目のうち、必修科目15単位以上を修得すること

ロ 第3年次

共通教育科目	—
スタンダード科目	—
専門教育科目	1、2年次開講の必修科目46単位のうち下記の科目を含め44単位以上を修得すること 「解剖学Ⅰ」、「解剖学Ⅱ」、「解剖学実習」、「生理学Ⅰ」、「生理学Ⅱ」、「生理学実習」、「運動学」、「運動系機能能力評価学Ⅰ」、「運動系機能能力評価学実習Ⅰ」、「運動系機能能力評価学Ⅱ」、「運動系機能能力評価学実習Ⅱ」、「神経系機能能力評価学」、「内部系機能能力評価学」、「生活支援系評価学」

ハ 第4年次

共通教育科目	—
スタンダード科目	—
専門教育科目	1～3年次開講科目のうち、「理学療法研究法」、「理学療法管理運営学」を除くすべての必修科目68単位以上を修得すること

② 作業療法学専攻

イ 第2年次

共通教育科目	—
スタンダード科目	「アカデミックリテラシー」を修得すること
専門教育科目	「臨床見学実習」を修得すること

ロ 第3年次

共通教育科目	—
スタンダード科目	—
専門教育科目	「臨床体験実習」を修得すること

ハ 第4年次

共通教育科目	—
スタンダード科目	—
専門教育科目	「臨床推論実習」を修得すること

③ 言語聴覚療法学専攻

イ 第2年次

共通教育科目	—
スタンダード科目	「アカデミックリテラシー」を修得すること
専門教育科目	1年次開講科目のうち、必修科目17単位以上を修得すること

ロ 第3年次

共通教育科目	—
スタンダード科目	—
専門教育科目	1、2年次開講の必修科目51単位のうち、「臨床実習Ⅰ」および下記の科目を含め46単位以上を修得すること 「解剖・生理学演習」、「小児科学」、「内科学概論」、「リハビリーション脳神経学」、「耳鼻咽喉科学」、「形成外科学」、「歯科口腔外科学」、「音声聴覚医学」

ハ 第4年次

共通教育科目	—
スタンダード科目	—
専門教育科目	「臨床実習Ⅱ」を修得すること

リハビリテーション支援学科

義肢装具学専攻

イ 第2年次

共通教育科目	—
スタンダード科目	「アカデミックリテラシー」を修得すること
専門教育科目	1年次開講科目のうち、必修科目を12単位以上修得すること

ロ 第3年次

共通教育科目	—
スタンダード科目	—
専門教育科目	1、2年次開講科目のうち、必修科目を28単位以上修得すること

ハ 第4年次

共通教育科目	—
スタンダード科目	—
専門教育科目	1~3年次開講科目のうち、必修科目を41単位以上修得すること

2 前項にかかわらず、学部長が特に認めた者はこの限りでない。

第6章 雜則

(その他)

第17条 この規定に定めるもののほか、授業科目の履修等に関する必要な事項は、学部長が定める。

(規定の改廃)

第18条 この規定の改廃は、学部長会議および教授会の議を経て、学長が行う。

付 則

- 1 この規定は、2013年4月1日から施行する。
- 2 この改正規定は、2017年4月1日から施行する。
- 3 2015年度以前の入学者の履修については、第6条、第7条、第7条の2および第8条を除き、なお従前の例による。
- 4 改正後の第2条第3項および第4条第5項については、2016年度入学者から適用する。

別表第1 開設する授業科目の分類、配当年次・学期および時間数

1 共通教育科目

注

- 1 単位数を○で囲んだ授業科目は必修科目
- 2 時間数を()で囲んだ授業科目は前期または後期で開講する。

科目区分	授業科目	単位数	配当年次・学期・時間数								備考	
			1年次		2年次		3年次		4年次			
			前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期		
教養科目	グローバル社会を考えるⅠ	1		(30)	(30)	(30)	(30)	(30)				
	グローバル社会を考えるⅡ	1		(30)	(30)	(30)	(30)	(30)				

	解	グローバル社会を考えるⅢ	1		(3 0)	(3 0)	(3 0)	(3 0)	(3 0)			
学 際 人 間 と 思 想 ・ 文 化	思想・文化を考えるⅠ	1		(3 0)	(3 0)	(3 0)	(3 0)	(3 0)				
	思想・文化を考えるⅡ	1		(3 0)	(3 0)	(3 0)	(3 0)	(3 0)				
人 間 と 現 代 社 会	現代社会を考えるⅠ	1		(3 0)	(3 0)	(3 0)	(3 0)	(3 0)				
	現代社会を考えるⅡ	1		(3 0)	(3 0)	(3 0)	(3 0)	(3 0)				
人 間 と 科 学 ・ 技 術	科学・技術と人間生活Ⅰ	1		(3 0)	(3 0)	(3 0)	(3 0)	(3 0)				
	科学・技術と人間生活Ⅱ	1		(3 0)	(3 0)	(3 0)	(3 0)	(3 0)				
基礎 教 育 科 目	共 通 基 礎 人 文 科 学	哲学	2	(3 0)	(3 0)	(3 0)	(3 0)					
		文学	2	(3 0)	(3 0)	(3 0)	(3 0)					
		心理学	2	(3 0)	(3 0)	(3 0)	(3 0)					
		日本語表現法	2	(3 0)	(3 0)	(3 0)	(3 0)					
		芸術学	2	(3 0)	(3 0)	(3 0)	(3 0)					
		文化人類学	2	(3 0)	(3 0)	(3 0)	(3 0)					
		コミュニケーション論	2	(3 0)	(3 0)	(3 0)	(3 0)					
	社会 科 学	法学	2	(3 0)	(3 0)	(3 0)	(3 0)					
		経済学	2	(3 0)	(3 0)	(3 0)	(3 0)					
		歴史学	2	(3 0)	(3 0)	(3 0)	(3 0)					

自然 科学	政治学	2	(3 0)	(3 0)	(3 0)	(3 0)					
	教育学	2	(3 0)	(3 0)	(3 0)	(3 0)					
	統計学	2	(3 0)	(3 0)	(3 0)	(3 0)					
	数学基礎	1	30								
	数学	2	(3 0)	(3 0)	(3 0)	(3 0)					
	物理学	2	(3 0)	(3 0)	(3 0)	(3 0)					
	物理学実験	1	(4 5)	(4 5)	(4 5)	(4 5)					
	化学	2	(3 0)	(3 0)	(3 0)	(3 0)					
	化学実験	1	(4 5)	(4 5)	(4 5)	(4 5)					
情報 処理	生物学	2	(3 0)	(3 0)	(3 0)	(3 0)					
	生物学実験	1	(4 5)	(4 5)	(4 5)	(4 5)					
	情報基礎演習	①	30								
	情報倫理・応用演習	①	(3 0)	(3 0)							
	情報統計演習	1	(3 0)	(3 0)	(3 0)	(3 0)					
外国 語	情報管理演習	1	(3 0)	(3 0)	(3 0)	(3 0)					
	情報発展演習	1	(3 0)	(3 0)	(3 0)	(3 0)					
	英語 I a	①	30								
	英語 I b	①		30							
	英語 II a	①	30								
	英語 II b	①		30							
	英語 III a	1			30						

	英語Ⅲb	1				30					
	英語Ⅳ	1			(3 0)	(3 0)	(3 0)	(3 0)	(3 0)	(3 0)	
	検定英語	1			(3 0)	(3 0)	(3 0)	(3 0)	(3 0)	(3 0)	
	ドイツ語a	1	30								
	ドイツ語b	1		30							
	中国語a	1	30								
	中国語b	1		30							
	韓国語a	1	30								
	韓国語b	1		30							
保健体育	スポーツI	①	(1 5)	(1 5)							
	スポーツII	1	(3 0)	(3 0)							
	スポーツIII	1	(3 0)	(3 0)							
キャリア教育	Global Communication	2			(3 0)	(3 0)	(3 0)	(3 0)			

【留学生特例科目】

科目区分			授業科目	単位数	配当年次・学期・時間数								備考	
					1年次		2年次		3年次		4年次			
					前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期		
基礎教育科目	共通社会科学基礎	日本事情I	2	30										
		日本事情II	2		30									
外国語		日本語Ia	1	30										
		日本語Ib	1		30									
		日本語IIa	1			30								
		日本語IIb	1				30							

[注] 留学生特例科目において修得した単位は、学部および学科で履修すべき単位数のうち、次に掲げるもので代えることができる。ただし、その履修に関しては学部または学科の指示に従うものとする。

- 1 共通教育科目的共通基礎社会科学の2単位までを「日本事情Ⅰ」の単位数
- 2 共通教育科目的外国語の4単位までを「日本語Ⅰa」、「日本語Ⅰb」、「日本語Ⅱa」および「日本語Ⅱb」の単位数

2 スタンダード科目

注

- 1 単位数を○で囲んだ授業科目は必修科目
- 2 時間数を()で囲んだ授業科目は前期または後期で開講する。

科目区分	授業科目	単位 数	配当年次・学期・時間数								備考	
			1年次		2年次		3年次		4年次			
			前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期		
スタンダード科目	アカデミックリテラシー	①	30									
	チュートリアル	①	30									
	専門職連携基礎演習Ⅰ	①	(30)	(30)								
	専門職連携基礎演習Ⅱ	①	(30)	(30)								
	専門職連携総合演習Ⅰ	1			(30)	(30)	(30)	(30)				
	専門職連携総合演習Ⅱ	1					(30)	(30)	(30)	(30)		
	防災・危機管理学	1	(15)	(15)	(15)	(15)						
	地域創生論	1	(15)	(15)	(15)	(15)						

3 専門教育科目

イ リハビリテーション学科

① 理学療法学専攻

注

- 1 単位数を○で囲んだ授業科目は必修科目
- 2 時間数を()で囲んだ授業科目は前期または後期で開講する。

科目区分	授業科目	単位 数	配当年次・学期・時間数				備考
			1年次	2年次	3年次	4年次	

			前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期
専門基礎分野	人体の構造と機能及び心身の発達	解剖学 I	②	(3 0)	(3 0)					
		解剖学 II	②	(3 0)	(3 0)					
		解剖学実習	①	(4 5)	(4 5)					
		生理学 I	②	(3 0)	(3 0)					
		生理学 II	②			(3 0)	(3 0)			
		生理学実習	①			(4 5)	(4 5)			
		運動学	②	(3 0)	(3 0)					
		運動学実習	①			(4 5)	(4 5)			
		機能解剖学	2			(3 0)	(3 0)			
		人間発達学	②	(3 0)	(3 0)					
疾病と障害の成り立ち及び回復過程の促進		医学概論	②	(3 0)	(3 0)					
		内科学 I	①			(3 0)	(3 0)			
		内科学 II	①			(3 0)	(3 0)			
		整形外科学 I	①			(3 0)	(3 0)			
		整形外科学 II	①			(3 0)	(3 0)			
		精神医学	②			(3 0)	(3 0)			
		脳神経学 I	①			(3 0)	(3 0)			
		脳神経学 II	①			(3 0)	(3 0)			

		発達障害学	②			(3 0)	(3 0)				
保健 医療 福祉 とリ ハビ リテー ションの 理念	リハビリテーション 概論	②	(3 0)	(3 0)							
	生命倫理	②	(3 0)	(3 0)							
	リハビリテーション 心理学	2	(3 0)	(3 0)							
	加齢医学	2					(3 0)	(3 0)			
専門 分野	基礎 理学 療法学	理学療法概論	②	(3 0)	(3 0)						
		理学療法研究法	②					(3 0)	(3 0)		
		理学療法管理運営学	②					(3 0)	(3 0)		
理学 療法 評価 学	運動系機能能力評価 学Ⅰ	①			(3 0)	(3 0)					
	運動系機能能力評価 学実習Ⅰ	①			(4 5)	(4 5)					
	運動系機能能力評価 学Ⅱ	①			(3 0)	(3 0)					
	運動系機能能力評価 学実習Ⅱ	①			(4 5)	(4 5)					
	神経系機能能力評価 学	①			(3 0)	(3 0)					
	内部系機能能力評価 学	①			(3 0)	(3 0)					
	生活支援系評価学	①			(3 0)	(3 0)					
理学 療法 治療 学	徒手療法学	2						(3 0)	(3 0)		
	運動療法学	②						(3 0)	(3 0)		
	物理療法学	①				(3 0)	(3 0)				
	物理療法学実習	①				(4 5)	(4 5)				

	義肢装具学 I	①				(3 0)	(3 0)			
	義肢装具学 II	①				(3 0)	(3 0)			
	内部障害理学療法治療学	①				(3 0)	(3 0)			
	内部障害理学療法治療学実習	①				(4 5)	(4 5)			
	運動器理学療法治療学	①				(3 0)	(3 0)			
	運動器理学療法治療学実習	①				(4 5)	(4 5)			
	スポーツ外傷治療学	①				(3 0)	(3 0)			
	スポーツ外傷治療学演習	①				(3 0)	(3 0)			
	発達障害理学療法学	①				(3 0)	(3 0)			
	中枢神経系理学療法治療学 I	①				(3 0)	(3 0)			
	中枢神経系理学療法治療学 II	①				(3 0)	(3 0)			
	中枢神経系理学療法治療学実習	①				(4 5)	(4 5)			
	生活支援系理学療法治療学	①				(3 0)	(3 0)			
	生活支援系理学療法治療学実習	①				(4 5)	(4 5)			
	臨床運動学	①				(3 0)	(3 0)			
	臨床運動学実習	①				(4 5)	(4 5)			
	臨床理学療法演習	①				(3 0)	(3 0)			
地域理学療法学	地域理学療法学	①			(3 0)	(3 0)				
	地域在宅理学療法学演習	①				(3 0)	(3 0)			

		ヘルスプロモーション論	2			(30)	(30)				
		公衆衛生学	①	(30)	(30)						
臨床実習	臨床体験実習	①	(45)	(45)							
	検査測定実習	①			(45)	(45)					
	臨床評価実習	②					(90)	(90)			
	総合臨床実習	⑯							(630)	(630)	
	卒業研究	④							120		
専門総合分野	総合技術	理学療法学演習	②						(60)	(60)	
		理学療法特別講義	2					(30)	(30)		

(2) 作業療法学専攻

注

- 1 単位数を○で囲んだ授業科目は必修科目
 2 時間数を()で囲んだ授業科目は前期または後期で開講する。

科目区分		授業科目	単位数	配当年次・学期・時間数								備考	
				1年次		2年次		3年次		4年次			
				前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期		
専門基礎分野	人体の構造と機能及び心身の発達	解剖学 I	②	(30)	(30)								
		解剖学 II	②	(30)	(30)								
		解剖学実習	①	(45)	(45)								
		生理学 I	②	(30)	(30)								
		生理学 II	②			(30)	(30)						
		生理学実習	①			(45)	(45)						

	リハビリテーション 運動学	②	(3 0)	(3 0)						
	リハビリテーション 運動学実習	①			(4 5)	(4 5)				
	人間発達学	②	(3 0)	(3 0)						
疾病 と障 害の 成り立 ち及 び回 復過 程の促 進	医学概論	②	(3 0)	(3 0)						
	リハビリテーション 内科学 I	①			(3 0)	(3 0)				
	リハビリテーション 内科学 II	①			(3 0)	(3 0)				
	リハビリテーション 整形外科学 I	①			(3 0)	(3 0)				
	リハビリテーション 整形外科学 II	①			(3 0)	(3 0)				
	リハビリテーション 精神医学	②			(3 0)	(3 0)				
	リハビリテーション 脳神経学 I	①			(3 0)	(3 0)				
	リハビリテーション 脳神経学 II	①			(3 0)	(3 0)				
	発達障害学	②			(3 0)	(3 0)				
	リハビリテーション 概論	②	(3 0)	(3 0)						
保健 医療 福祉 とリ ハビ リテー ションの 理念	生命倫理	②	(3 0)	(3 0)						
	リハビリテーション 心理学	2	(3 0)	(3 0)						
	加齢医学	2					(3 0)	(3 0)		
	作業療法概論	②	(3 0)	(3 0)						
専門 分野	作業療法研究法	②					(3 0)	(3 0)		
	作業学	②	(3 0)	(3 0)						

	作業学実習	①	(4 5)	(4 5)						
	作業療法理論	②			(3 0)	(3 0)				
作業 療法 評価 学	作業療法評価学総論	①			(3 0)	(3 0)				
	神経系機能能力評価 学	①			(3 0)	(3 0)				
	神経系機能能力評価 学実習	①			(4 5)	(4 5)				
	運動系機能能力評価 学	①			(3 0)	(3 0)				
	運動系機能能力評価 学実習	①			(4 5)	(4 5)				
	精神・認知機能能力 評価学	①			(3 0)	(3 0)				
作業 療法 治療 学	作業療法治療学総論	②			(3 0)	(3 0)				
	内部障害作業療法学	①					(3 0)	(3 0)		
	脳血管障害作業療法 学	①					(3 0)	(3 0)		
	脳血管障害作業療法 学演習	①					(3 0)	(3 0)		
	運動器障害作業療法 学	①					(3 0)	(3 0)		
	運動器障害作業療法 学演習	①					(3 0)	(3 0)		
	老年期作業療法学	①					(3 0)	(3 0)		
	老年期作業療法学演 習	①					(3 0)	(3 0)		
	発達障害作業療法学	①					(3 0)	(3 0)		
	発達障害作業療法学 演習	①					(3 0)	(3 0)		
	精神障害作業療法学	①					(3 0)	(3 0)		

	精神障害作業療法学 演習	①				(3 0)	(3 0)			
	義肢装具学 I	①				(3 0)	(3 0)			
	日常生活活動学	①		(3 0)	(3 0)					
	日常生活活動学実習	①		(4 5)	(4 5)					
地域 作業 療法 学	地域作業療法学	①				(3 0)	(3 0)			
	公衆衛生学	①	(3 0)	(3 0)						
	ヘルスプロモーション論	2		(3 0)	(3 0)					
	介護予防方法論	2		(3 0)	(3 0)					
	福祉住環境コーディネート論	②		(3 0)	(3 0)					
	就労支援技術学	2				(3 0)	(3 0)			
臨床 実習	臨床見学実習	①	(4 5)	(4 5)						
	臨床体験実習	②		(9 0)	(9 0)					
	臨床推論実習	⑥				(27 0)	(27 0)			
	総合臨床実習	⑯						(72 0)	(72 0)	
	卒業研究	④						120		
専門 総合 分野	総合 技術	作業療法学演習 I	①		(3 0)	(3 0)				
	作業療法学演習 II	①			(3 0)	(3 0)				
	作業療法学演習 III	②					(6 0)	(6 0)		
	作業療法特別講義	2			(3 0)	(3 0)				

③ 言語聴覚療法学専攻

注

1 単位数を○で囲んだ授業科目は必修科目

2 時間数を()で囲んだ授業科目は前期または後期で開講する。

科目区分	授業科目	単位数	配当年次・学期・時間数								備考	
			1年次		2年次		3年次		4年次			
			前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期		
専門基礎分野	基礎医学	医学概論	(2)	(3 0)	(3 0)							
		解剖学	(2)	(3 0)	(3 0)							
		生理学	(2)	(3 0)	(3 0)							
		解剖・生理学演習	1			(3 0)	(3 0)					
		病理学概論	(2)	(3 0)	(3 0)							
		人間発達学	2	(3 0)	(3 0)							
		公衆衛生学	1	(3 0)	(3 0)							
臨床医学及び歯学	歯学	リハビリテーション精神医学	(2)			(3 0)	(3 0)					
		小児科学	(1)			(3 0)	(3 0)					
		リハビリテーション医学	1			(3 0)	(3 0)					
		内科学概論	(1)			(3 0)	(3 0)					
		リハビリテーション脳神経学	(1)			(3 0)	(3 0)					
		耳鼻咽喉科学	(1)			(3 0)	(3 0)					
		形成外科学	(1)			(3 0)	(3 0)					
		歯科口腔外科学	(1)			(3 0)	(3 0)					

音声 言語 聴覚 医学	脳神経機能評価学	②			(3 0)	(3 0)				
	音声聴覚医学	①	(3 0)	(3 0)						
音声 学・ 言語 学	言語理論と言語心理	②	(3 0)	(3 0)						
	音声学	②	(3 0)	(3 0)						
	音響・聴覚心理学	②			(3 0)	(3 0)				
	言語発達学	①	(3 0)	(3 0)						
心理 学	カウンセリング	2					(3 0)	(3 0)		
	臨床心理学	②	(3 0)	(3 0)						
	発達心理学	②	(3 0)	(3 0)						
	学習心理学	2			(3 0)	(3 0)				
	認知心理学	②			(3 0)	(3 0)				
	心理測定法	②					(3 0)	(3 0)		
	音楽療法概論	1							(3 0)	(3 0)
	グループダイナミクス	1					(3 0)	(3 0)		
社会 福 祉・ 教育	リハビリテーション概論	②	(3 0)	(3 0)						
	特別支援教育概論	1							(3 0)	(3 0)
	社会保障制度論(関係法規含む)	①					(3 0)	(3 0)		
	加齢医学	2					(3 0)	(3 0)		
	生活環境科学	2					(3 0)	(3 0)		

		ヘルスプロモーション論	2			(3 0)	(3 0)				
専門分野	障害学総論	言語聴覚障害学概論 I	②	(3 0)	(3 0)						
		言語聴覚障害学概論 II	②	(3 0)	(3 0)						
言語発達障害学	発達系障害学概論 I	発達系障害学概論 I	②			(3 0)	(3 0)				
		発達系障害学概論 II	②					(3 0)	(3 0)		
	発達系障害学演習 I	発達系障害学演習 I	①					(3 0)	(3 0)		
		発達系障害学演習 II	①					(3 0)	(3 0)		
高次脳機能障害学	認知系障害学概論 I	認知系障害学概論 I	②			(3 0)	(3 0)				
		認知系障害学概論 II	②					(3 0)	(3 0)		
	認知系障害学演習 I	認知系障害学演習 I	①					(3 0)	(3 0)		
		認知系障害学演習 II	①					(3 0)	(3 0)		
発声発語嚥下障害学	発声発語系障害学概論 I	発声発語系障害学概論 I	②			(3 0)	(3 0)				
		発声発語系障害学概論 II	②					(3 0)	(3 0)		
	発声発語系障害学演習	発声発語系障害学演習	①					(3 0)	(3 0)		
		拡大・代替コミュニケーション論	1							(3 0)	(3 0)
	嚥下系障害学概論 I	嚥下系障害学概論 I	②			(3 0)	(3 0)				
		嚥下系障害学概論 II	②					(3 0)	(3 0)		
	嚥下系障害学演習	嚥下系障害学演習	①					(3 0)	(3 0)		
聴覚障害	聴覚系障害学概論 I	聴覚系障害学概論 I	②			(3 0)	(3 0)				

学	聴覚系障害学概論 II	②				(3 0)	(3 0)		
	聴覚系障害学演習 I	①				(3 0)	(3 0)		
	聴覚系障害学演習 II	②				(3 0)	(3 0)		
臨床実習	臨床実習 I	①		(4 5)	(4 5)				
	臨床実習 II	④				(18 0)	(18 0)		
	臨床実習 III	⑦						(31 5)	(31 5)
	臨床研究 I	②				(3 0)	(3 0)		
	臨床研究 II	②				(3 0)	(3 0)		
	卒業研究	④						120	
総合技術	言語聴覚学演習	②						(6 0)	(6 0)
	言語聴覚特別講義 I	2						(6 0)	(6 0)
	言語聴覚特別講義 II	2						(6 0)	(6 0)

□ リハビリテーション支援学科

義肢装具学専攻

注

- 1 単位数を○で囲んだ授業科目は必修科目
- 2 時間数を()で囲んだ授業科目は前期または後期で開講する。

科目区分		授業科目	単位数	配当年次・学期・時間数						備考	
				1年次		2年次		3年次			
				前期	後期	前期	後期	前期	後期		
専門基礎分野	人体の構造と機能及び心身	解剖学	②	(3 0)	(3 0)						
		解剖学演習	①	(3 0)	(3 0)						

の発達	機能解剖学	②			(3 0)	(3 0)				
	生理学	②	(3 0)	(3 0)						
	生理学演習	①			(3 0)	(3 0)				
	リハビリテーション運動学	②	(3 0)	(3 0)						
	リハビリテーション運動学実習	①			(4 5)	(4 5)				
	人間工学	2			(3 0)	(3 0)				
	人間工学演習	1			(3 0)	(3 0)				
	病理学概論	②			(3 0)	(3 0)				
疾病と障害の成り立ち及び回復過程の促進	内科学概論	②			(3 0)	(3 0)				
	リハビリテーション整形外科学	②			(3 0)	(3 0)				
	リハビリテーション心理学	2					(3 0)	(3 0)		
	リハビリテーション脳神経学	②			(3 0)	(3 0)				
	公衆衛生学	②	(3 0)	(3 0)						
	社会参加と高齢者の福祉	2	(3 0)	(3 0)						
保健医療福祉とリハビリテーションの理念	リハビリテーション概論	①	(3 0)	(3 0)						
	認知行動科学	①					(3 0)	(3 0)		
	ボランティア論	②	(3 0)	(3 0)						
	福祉住環境学	2					(3 0)	(3 0)		
	介護概論	①			(3 0)	(3 0)				

	保健医療福祉論	2			(3 0)	(3 0)				
	高齢者福祉論	2					(3 0)	(3 0)		
	生命倫理	①	(3 0)	(3 0)						
	関係法規	①					(3 0)	(3 0)		
義肢 装具 領域 にお ける 工学	図学・製図学	①	(3 0)	(3 0)						
	機構学	①					(3 0)	(3 0)		
	情報処理演習	①			(3 0)	(3 0)				
	機械工学	①			(3 0)	(3 0)				
	制御工学	①					(3 0)	(3 0)		
	ユニバーサルデザイン	②					(3 0)	(3 0)		
	センサー制御学演習Ⅰ	①					(3 0)	(3 0)		
	センサー制御学演習Ⅱ	①					(3 0)	(3 0)		
	統計学演習	①			(3 0)	(3 0)				
専門 分野	基礎 義肢 装具 学	義肢装具学概論	②	(3 0)	(3 0)					
		義肢装具基礎工作論	②	(3 0)	(3 0)					
		義肢装具基礎工作実習	②	(9 0)	(9 0)					
		義肢装具材料学	②	(3 0)	(3 0)					
		義肢装具材料力学	②			(3 0)	(3 0)			
		福祉用具支援論	2			(3 0)	(3 0)			

	福祉用具プランニング演習	1			(3 0)	(3 0)				
	理学療法検査測定演習	①			(3 0)	(3 0)				
	運動機能計測学	②					(3 0)	(3 0)		
	運動機能計測学実習	①					(4 5)	(4 5)		
	機器工作論	①	(3 0)	(3 0)						
	機器工作演習	①	(3 0)	(3 0)						
応用 義肢 装具 学	義肢 I (下腿義足)	①			(3 0)	(3 0)				
	義肢 I 実習 (下腿義足)	②			(9 0)	(9 0)				
	義肢 II (義手)	①					(3 0)	(3 0)		
	義肢 II 実習 (義手)	②					(9 0)	(9 0)		
	義肢 III (大腿義足)	①					(3 0)	(3 0)		
	義肢 III 実習 (大腿義足)	②					(9 0)	(9 0)		
	バイオメカニクス	2					(3 0)	(3 0)		
	バイオメカニクス演習	1					(3 0)	(3 0)		
	装具 I (下肢装具)	①			(3 0)	(3 0)				
	装具 I 実習 (下肢装具)	②			(9 0)	(9 0)				
	装具 II (体幹装具)	①					(3 0)	(3 0)		
	装具 II 実習 (体幹装具)	②					(9 0)	(9 0)		
	装具 III (上肢装具)	①					(3 0)	(3 0)		

		装具Ⅲ実習(上肢装具)	②				(9 0)	(9 0)			
		装具Ⅳ(座位保持装置・車椅子)	①				(3 0)	(3 0)			
		特殊補装具学(エピテーゼ・足底板応用編)	①				(3 0)	(3 0)			
		特殊補装具学実習(エピテーゼ・足底板応用編)	①				(4 5)	(4 5)			
臨床実習	見学実習	①	(4 5)	(4 5)							
	臨床実習Ⅰ	①			(4 5)	(4 5)					
	臨床実習Ⅱ	④					(18 0)	(18 0)			
	臨床実習Ⅲ	⑥							(27 0)	(27 0)	
		卒業研究	④						120		
専門総合分野	総合技術	義肢装具学演習	①						(3 0)	(3 0)	
		医療英語	①			(3 0)	(3 0)				

別表第2

先修科目

A欄に掲げる授業科目を履修するためには、B欄に掲げる授業科目(先修科目)の単位を前もって修得し、または同時に履修していなければならない。

[リハビリテーション学科]

①理学療法学専攻

A欄	B欄
臨床評価実習(3年次)	臨床体験実習
	検査測定実習

②作業療法学専攻

A欄	B欄

臨床体験実習(2年次)	作業療法概論(同時履修不可)
	リハビリテーション概論(同時履修不可)
	臨床見学実習(同時履修不可)
臨床推論実習(3年次)	作業療法評価学総論(同時履修不可)
	神経系機能能力評価学実習(同時履修不可)
	運動系機能能力評価学実習(同時履修不可)
	精神認知機能能力評価学(同時履修不可)
	臨床体験実習(同時履修不可)
総合臨床実習(4年次)	解剖学 I(同時履修不可)
	第1年次～第3年次の全ての必修科目の単位を修得していること

③言語聴覚療法学専攻

A欄	B欄
臨床実習 I(2年次)	リハビリーション概論
	言語聴覚障害学概論 I
	言語聴覚障害学概論 II
臨床実習 II(3年次)	発達系障害学概論 I
	認知系障害学概論 I
	発声発語系障害学概論 I
	嚥下系障害学概論 I
	聴覚系障害学概論 I
臨床実習 III(4年次)	発達系障害学概論 II
	認知系障害学概論 II
	発声発語系障害学概論 II
	嚥下系障害学概論 II
	聴覚系障害学概論 II

[リハビリテーション支援学科]

義肢装具学専攻

A欄	B欄
臨床実習 I (2年次)	リハビリテーション概論
	義肢装具学概論
臨床実習 II (3年次)	リハビリテーション整形外科学
	リハビリテーション脳神経学
	義肢装具基礎工作論
	義肢装具材料学
	義肢装具材料力学
	義肢 I (下腿義足)
臨床実習 III (4年次)	装具 I (下肢義足)
	臨床実習 II (同時履修不可)
	関係法規
	義肢 II (義手)
	義肢 III (大腿義足)
	装具 II (体幹装具)
	装具 III (上肢装具)
	特殊補装具学(エピテーゼ・足底板応用編)